

# 個人投資家向けイブニングセミナー Q Aメモ

## 双日株式会社(2768)

開催日：2020年12月9日（水）

説明者：IR室長 遠藤 友美絵 氏

### ◆ 当日いただいた主なご質問に対するご回答

Q1. 新型コロナウイルス感染症の影響と今期の見通し、感染対策について

A1. 自動車関連や航空産業関連、鉄鋼や化学品などの素材関連、リテール分野などで特に第1四半期を中心とした全世界の外出自粛・禁止の影響を受けた。第2四半期決算において、それまでの進捗状況を踏まえ、一部の事業セグメントの通期見通しを上方あるいは下方に修正した。足元では欧州などでの再ロックダウンの動きもあり、引き続き業績の進捗については注視が必要であると考えているが、21年3月期当期純利益見通し300億円達成に向けて取り組んでいる。

感染対策については、社内外における感染予防・感染拡大防止とグループ従業員・ステークホルダーの皆さまの安全確保を最優先に、在宅勤務および時差出勤の推進、手洗いうがいの励行、国外出張の原則禁止や不要不急の国内出張の留保、大人数が参加する会議・催事等の開催制限などの対策を実施している。

Q2. 今後の重点ビジネス事業、成長分野について

A2. 以前より、事業ポートフォリオを資源から、再生可能エネルギー事業、ヘルスケア事業、東南アジアを中心とするリテール事業などの非資源に軸足を移し、安定した収益基盤の構築と、非資源分野において稼ぐ力をつけることに注力してきたが、この方針を継続していく。また、今後は著しい環境変化、急速に進むデジタル化、価値観やニーズの多様化に対し、デジタル技術の活用によるDX投資等にも注力していく。

Q3. 当社の強み、他社との差別化について

A3. 単体社員約2,600名という規模による、スピーディーな意思決定、それを具体的実行策に移すことのできる機動性の高さ、それらを実現する風通しのよい社風が強みの1つである。また、ニチメンと日商岩井の経営統合の経験から、環境変化に適応し、生き延びる力や復元力、回復力を備えていると考えている。地域としては、ベトナムに早くから進出し、同国の発展段階に応じて様々な事業を展開してきた実績を同国からも評価されている。

Q4. 配当方針について

A4. 安定的且つ継続的に配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競

大和インベスター・リレーションズ株式会社（以下、「当社」といいます。）はこの資料の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された意見等は当社が開催する個人投資家向け会社説明会の開催時点における当該会社側の判断を示すに過ぎず、今後予告なく変更されることがあります。当社は、ここに記載された意見等に関して、お客様の銘柄の選択・投資に対して何らの責任を負うものではありません。この資料は投資勧誘を意図するものではありません。当社の承諾なくこの資料の複製または転載を行わないようお願いいたします。

---

競争力と株主価値を向上させることを基本方針とし、経営の最重要課題と位置付けている。当年度を最終年度とする「中期経営計画 2020」では、この基本方針の下、連結配当性向 30%程度を基本としており、当期末配当予定は1株あたり5円である。

Q5. 株価について

A5. 厳しい評価と認識しており、業績の向上、企業価値創造に向けた経営戦略策定、情報開示の強化に取り組んでいる。来年度からは新中期経営計画がスタートするが、しっかりと市場に当社の持続的成長に向けた方針をご説明すると同時に、積極的な情報開示や開示の質の向上を通じて従前以上に透明性を高め、当社へのご理解を頂けるように取り組んでいく。

Q6. 人材戦略、社員の育成について

A6. 当社グループの最大の資産は人材であり、持続的な企業価値の向上のために、環境が変わっても、そこに柔軟に対応しながら、新しい発想で、最後まであきらめずに実現する人材を育成・輩出するための人事戦略を策定・実行している。

現行「中期経営計画 2020」においては、「経営人材の育成」「ダイバーシティ経営」「働き方改革」を人材施策の3つの柱として掲げ、若いうちから海外経験や本部の垣根を越えた育成の機会、現場力を育む環境を整えている。

以上